

# 認 定 書

国住指第5630号

平成14年5月31日

吉野石膏株式会社

代表取締役社長 須藤永一郎 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号の二並びに同法施行令第107条の2第一号及び第二号（間仕切壁（耐力壁）：各45分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

QF045BP-9018

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

両面ボード用原紙張せっこう板重張／木造下地間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

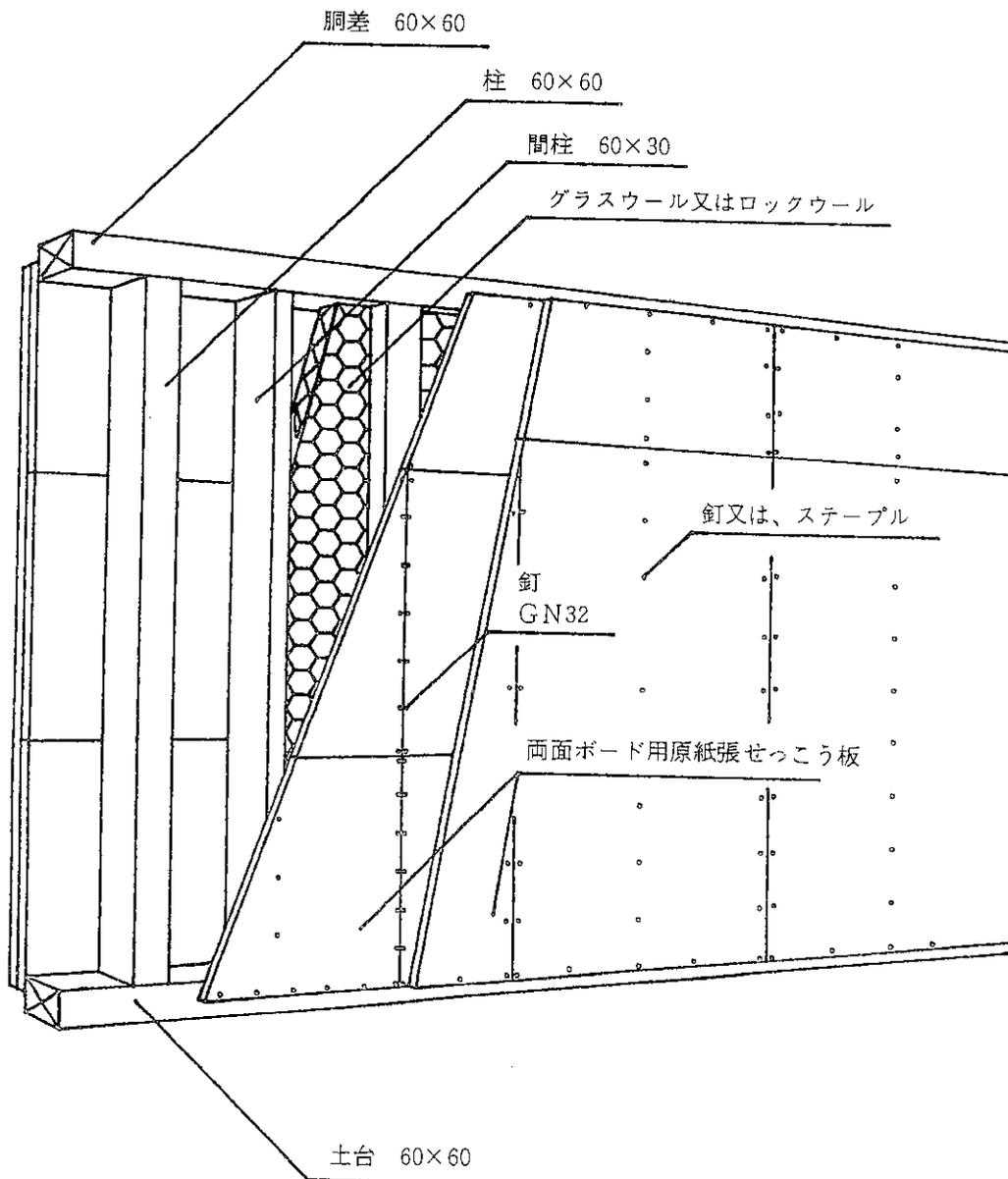
(別添)

認定番号	QF045BP-9018	認定年月日：平成 14 年 5 月 31 日
品目名	両面ボード用原紙張せっこう板重張 ／木造下地間仕切壁	申請者名：吉野石膏(株) 東京都千代田区丸の内 3-3-1 (新東京ビル内)

1. 部分、防火性能の区分 木造下地防火構造
2. 試験機関名 (財)ベターリビング 受託番号 第930850号
3. 構造説明図 (単位 mm)

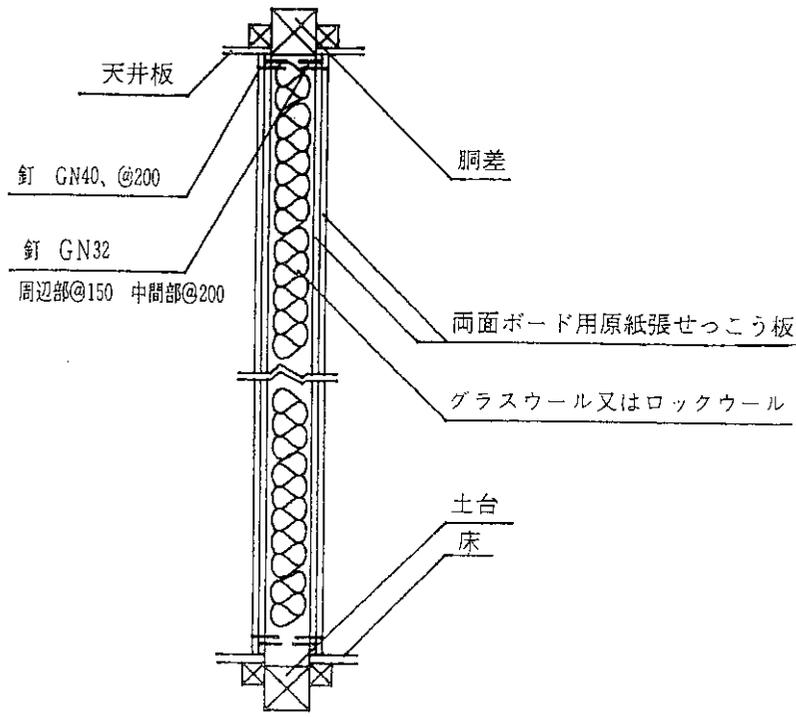
軸組工法

- ① グラスウール等を充填する場合  
透視図

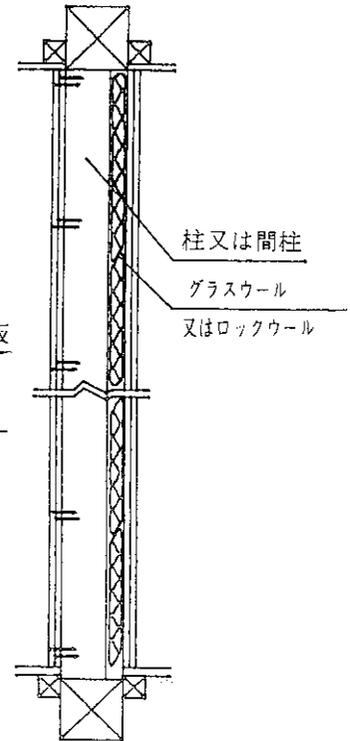


垂直断面図

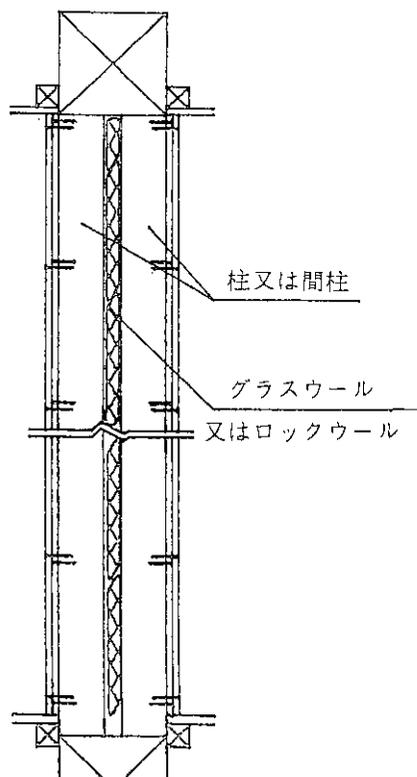
共通配置



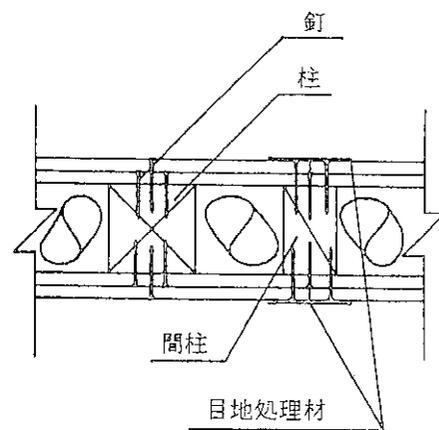
千鳥配置



ダブル配置

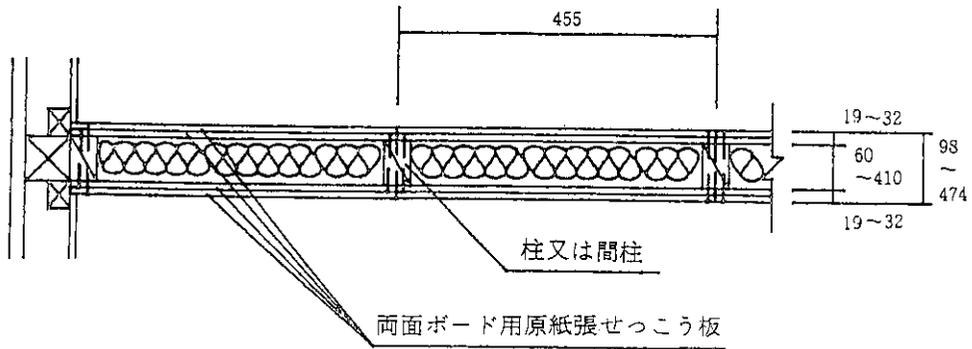


せっこう板取付部詳細図

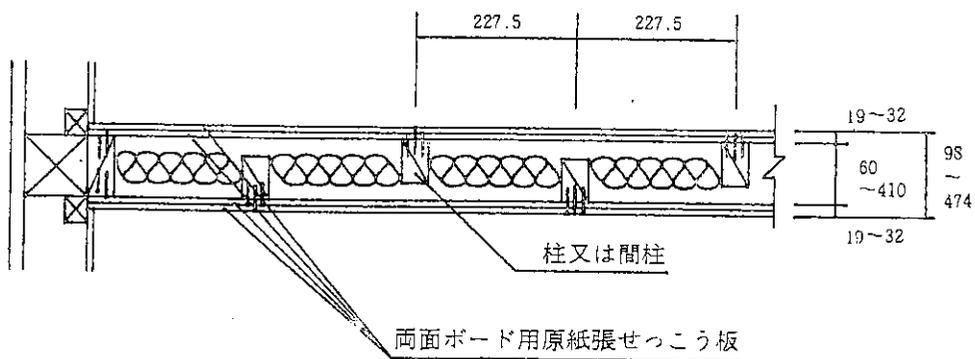


水平断面図

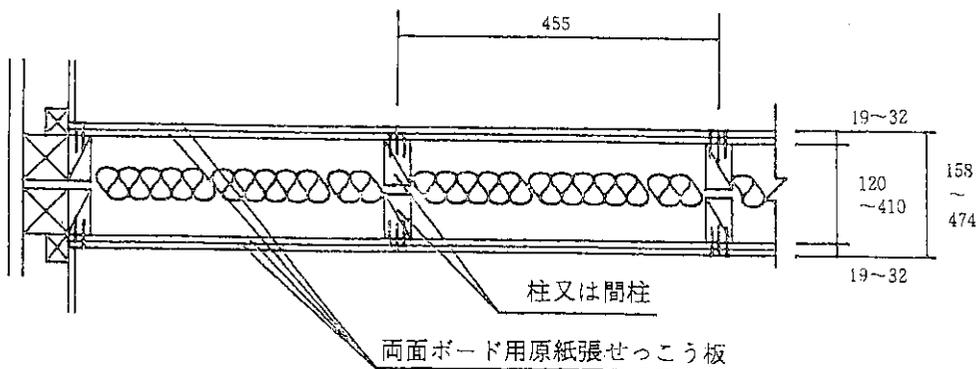
共通配置



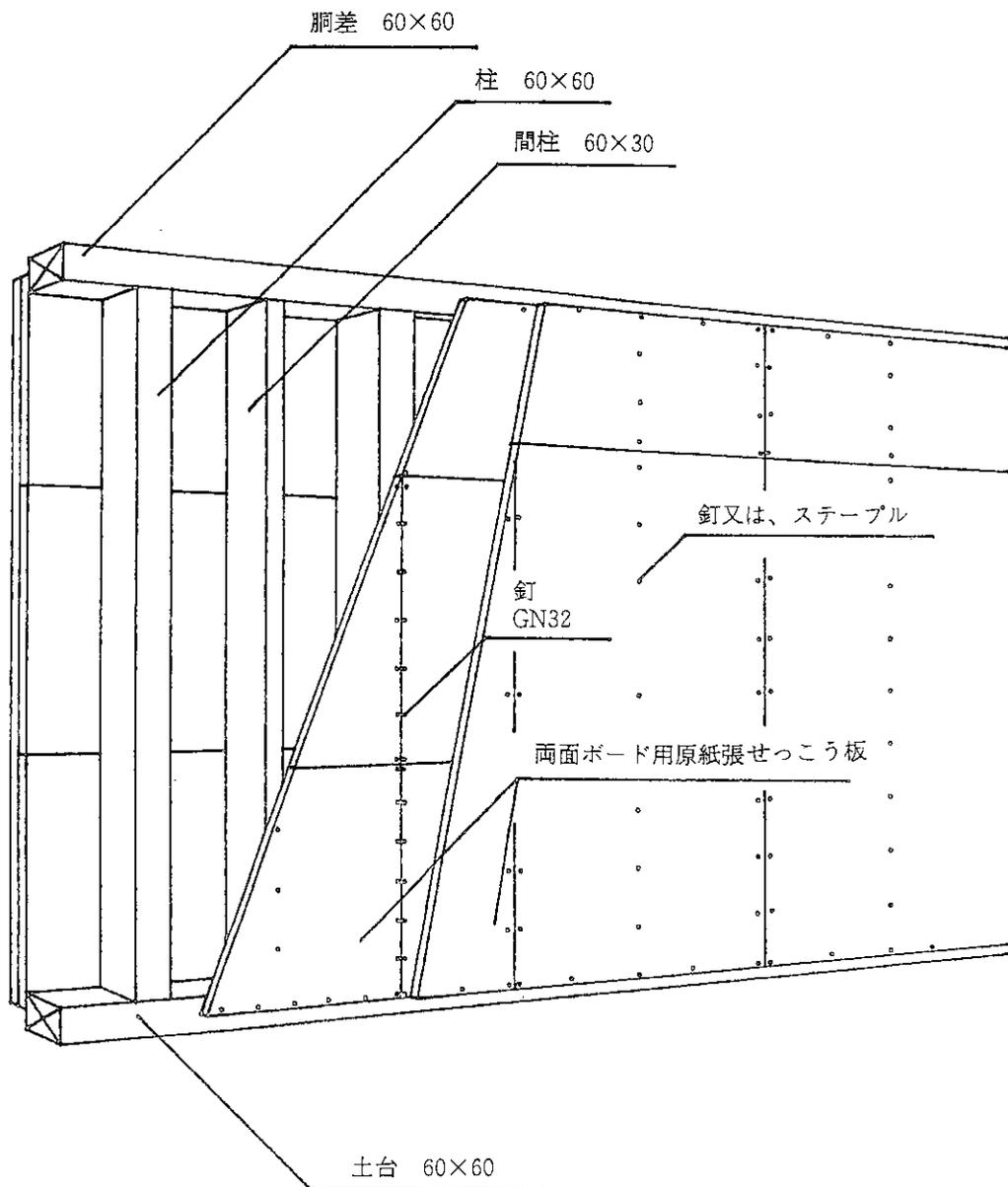
千鳥配置



ダブル配置

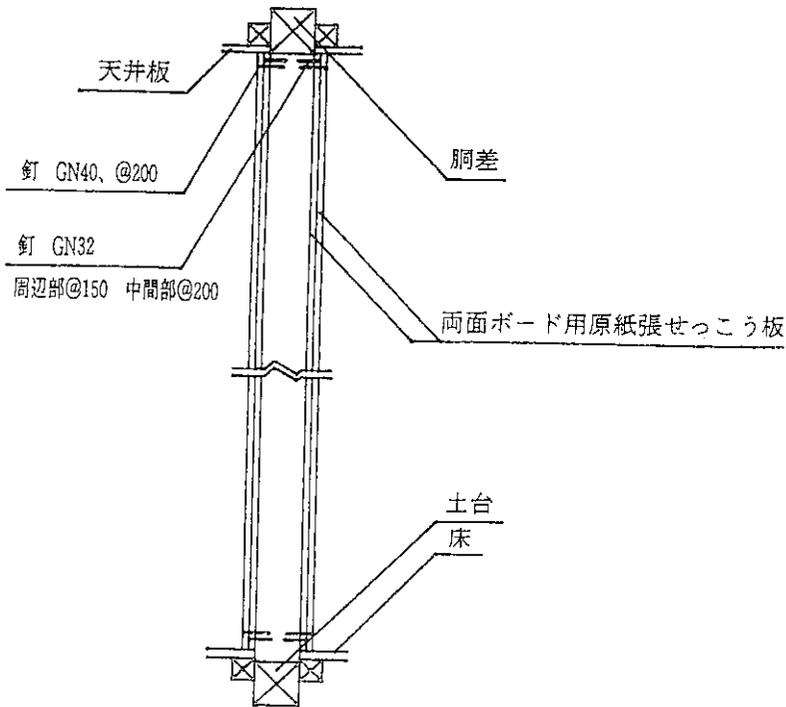


- ② グラスウォール等を充填しない場合  
透視図

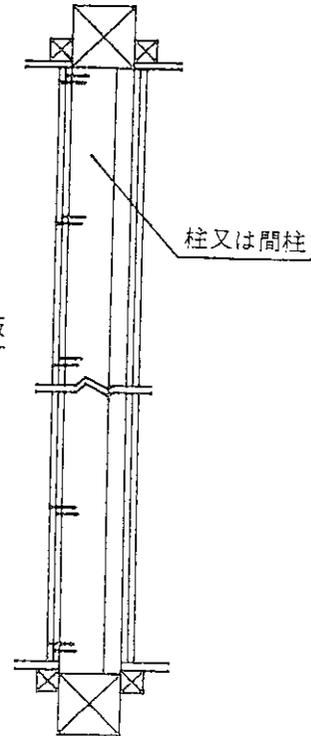


垂直断面図

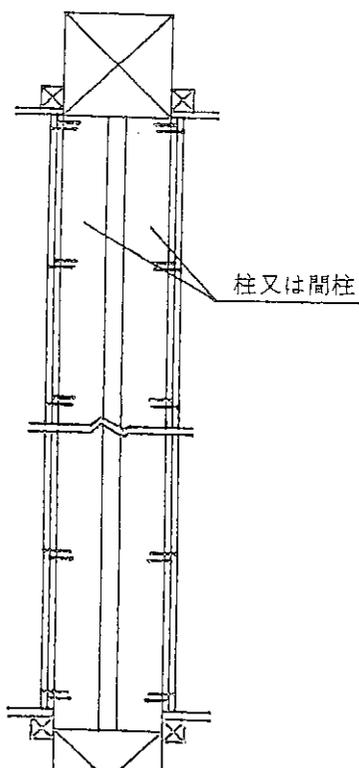
共通配置



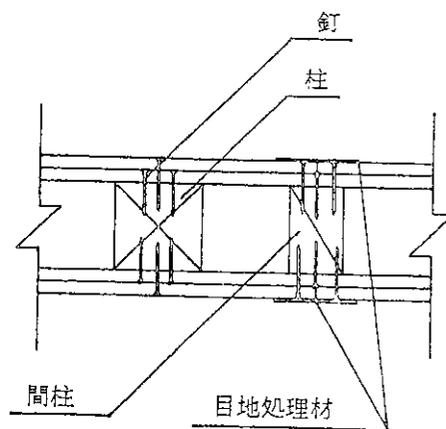
千鳥配置



ダブル配置

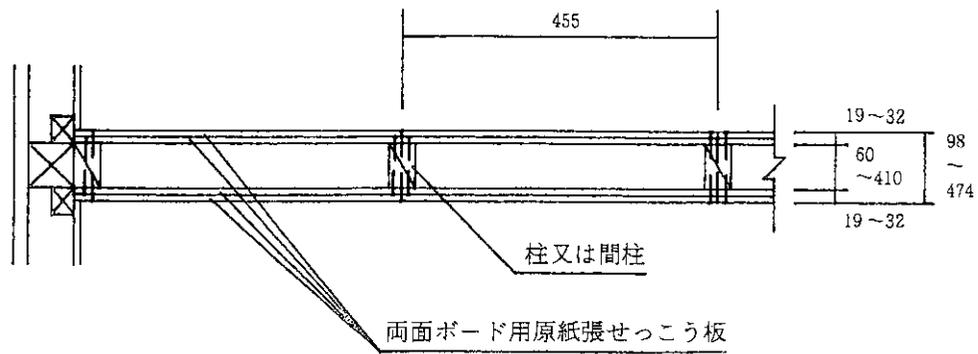


せっこう板 取付部詳細図

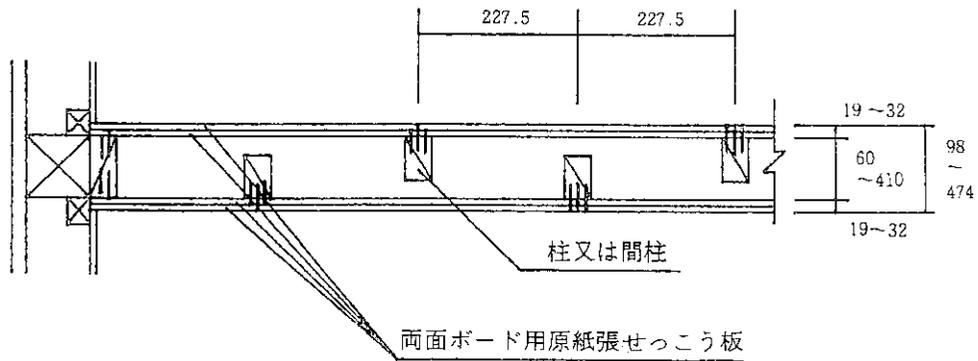


水平断面図

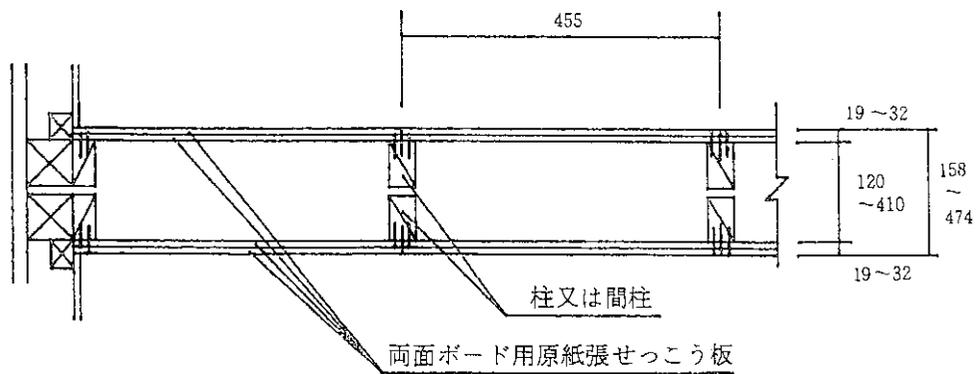
共通配置



千鳥配置



ダブル配置



4.材料等説明

(1) 主構成材料

①表面材

両面ボード用原紙張せっこう板（以下 せっこう板と称す）

規 格

準不燃（個）第 2824号

不 燃（個）第 11499号

J I S A 6901

寸法（mm）

厚さ 9.5、12.5、15、16（許容差±0.5）

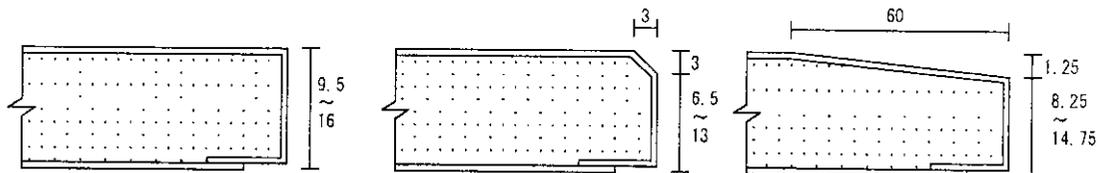
大きさ	最大	1210	+0 -3	×4500	+3 -0
	標準	910	+0 -3	×1820	+3 -0

端部の形状

スクエアー

ベベル

テーパ



かさ比重 0.63±0.06以上

含水率 3.0%以下

②下地材

軸組工法

柱 60×60mm以上、間柱 60×30mm以上

土台 60×60mm以上、胴差 60×60mm以上

③グラスウール、ロックウール

グラスウール：不燃第1031号、J I S A 6301、A 9504  
（24K 厚さ50mm以上）

ロックウール：不燃第1022号、J I S A 6301、A 9504  
（32K 厚さ50mm以上）

(2) 副構成材料

①釘

J I S A 5508

2.34φ×31.8mm（GN32）以上

②タッピンねじ

J I S B 1122、B 1125に規定する防錆処理したもの。

3.5φ×25mm以上

③ステーブル：防錆処理したもの。

幅4mm以上×長さ16mm以上

④接着剤

酢酸ビニル系、合成ゴム系、せっこう系又は、同等以上の性能を有するもの。

⑤ 敷目板

せっこう板、せっこうボード、けい酸カルシウム板、グラスウール板、ロックウール板  
(80K以上の高密度品) 厚さ5mm以上×幅40mm以上

⑥ 目地等処理材

J I S A 6914に適合するもの又は、同等以上の性能を有するもの。

⑦ 充填材

(イ) ジョイントコンパウンド : せっこう系、炭カル系

(ロ) ロックウールモルタル : 不燃第1023号

ロックウール60～85%、セメント15～40%  
密度 0.2g/cm<sup>3</sup>以上

(ハ) ロックウール : 不燃第1022号、J I S A 9504

比重 0.10～0.16

充填密度 150kg/m<sup>3</sup>

(ニ) シーリング材 : アクリル系、ウレタン系、ポリサルファイド系、  
シリコン系、酢酸ビニル系

5. 標準仕様 (施工仕様)

(1) 墨出し

間仕切壁を設置する所定の位置に、墨出しを行う。

(2) 柱、間柱の取付け

あらかじめ現場の寸法に合わせて切断された柱、間柱を千鳥配置の場合は約303mm以内の間隔で、共通又はダブル配置の場合は606mm以内の間隔で取付ける。また必要に応じこらび止め等の補強を設けるものとする。

(3) 敷目板の取付け

敷目板を使用する場合はあらかじめ幅約40mmに切断した敷目板を柱、間柱に仮留めする。

(4) 下張せっこう板の取付け

下張せっこう板は、縦又は横張にして、GN32以上の釘又は3.5φ×25mm以上のタッピンねじで、周辺部約150mm中間部約200mm以内に、固定して取付ける。

(5) グラスウールの充填

グラスウール等を充填する場合は、片面の下張せっこう板の取付け後、中空部にグラスウール等を充填し、反対側の下張せっこう板を取付ける。

(6) 上張せっこう板の取付け

上張せっこう板は、縦又は横張にして、下張せっこう板と目地部が重ならないようにして、GN40以上の釘又は3.5φ×32mm以上のタッピンねじで、約200mmの間隔に留付ける。

ステーブルのみで留付ける場合は、接着剤を点付けしステーブルで留付ける。ステーブルの留付間隔は約300mmとする。

(7) 目地部及び取合い部等の処理

(イ) 目地部を化粧目地とする場合は隙間が出ないように突付張りのままとする。

- (ロ) 大壁にする場合は、目地部を目地等処理材にて平滑に仕上げる。
- (ハ) 釘、タッピンねじ、ステーブルなどの留付部は、目地等処理材にて平滑に仕上げる。
- (ニ) 取合部は隙間のないように充填材にて充填する。
- (ホ) 伸縮可動を目的とした目地及び取合部には、充填材(ロックウール等)を150 kg/m<sup>3</sup>程度に隙間の無いように充填する。

(8) 表面仕上げ

目地処理等の表面処理終了後、防火上支障のない塗装、クロス張、吹付け等にて仕上げる。

6. 留意事項

- (1) せっこう板は、雨、湿気等の影響を受けないように平坦な場所に保管する。
- (2) せっこう板は、角や接着面に過度の衝撃を与えたり、表面に傷をつけないように運搬、施工する。

7. 付帯条件 なし

8. 注意事項

当該認定書において、「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正前の建築基準法の規定による建設大臣の認定仕様がある場合は、平成14年6月1日以降は「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正後の建築基準法の規定による当該認定仕様に係る国土交通大臣の認定仕様を用いるものとする。